

サツキマスの郷土料理を初体験

5月30日(水)稲沢市立長岡小学校の6年生の児童に、地元で郷土料理として親しまれてきたサツキマスの炊き込みご飯と刺身を味わう体験学習会を開催いたしました。この取り組みは平成17年度から行っており、今回で14回目の開催となります。



木曾川漁協による特別授業

昨年の12月に木曾川漁協提供のアマゴの稚魚1700匹を児童の手により木曾川大堰から放流し、海で成長して木曾川にサツキマスとして戻ってきた魚を見て、その生態や成長について学習しました。



サツキマスの成長を計算中

その後、JA愛知西のご協力により準備されたサツキマスを使った炊き込みご飯と、漁協にご提供していただいた刺身を味わいました。近年は漁獲量が減っているサツキマスの料理とあって、初めて口にすると子供も多くおり、とても貴重な経験となりました。



出来上がった料理の前で記念撮影